

# 新光電気の沿革

## 1946-1965

### 人と社会に、新たな光を

戦後まもなく家庭用電球のリサイクルから始まった新光電気のものづくり。その後も、新たな時代を見据え、新たな製品開発に注力し続けた活動は、現在も続く技術力の源泉となっています。

#### 1946

「合資会社長野家庭電器再生所」設立  
長野家庭電器再生所を改組・改称し  
「新光電気工業株式会社」設立

#### 1949

通信機用電球・2号型ランプの  
電気通信省(現・NTT(株))への  
納入開始



#### 1953

ダイオード用ガラス端子生産開始

#### 1957

富士通(株)の資本参加を得て、  
半導体分野への展開を図る  
長野市栗田に栗田工場開設



#### 1959

トランジスタ用ガラス端子生産開始



#### 1960

新光電気労働組合を結成

#### 1963

長野県更級郡更北村  
(現・長野市小島田町)  
に更北工場開設



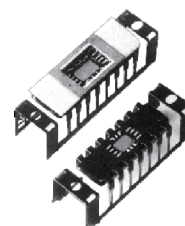
## 1966-1985

### 半導体産業の発展を支え、 世界へ展開

半導体パッケージングテクノロジーを駆使し、  
着実に事業領域を拡大。  
この時代から世界へと駆け上がっていきます。

#### 1966

当社初の IC パッケージ・  
DIP-10 生産開始



#### 1968

リードフレーム生産開始

#### 1977

米国カリフォルニア州に  
SHINKO ELECTRIC AMERICA, INC. 設立

#### 1978

新潟県新井市(現・妙高市)に新井工場開設

#### 1979

IC アセンブリ開始

#### 1980

長野県中野市に  
高丘工場開設



#### 1982

レーザーダイオード用ガラス端子生産開始

#### 1984

東京証券取引所市場第二部に株式を上場

# 1986-2005

## 加速するデジタル化の 技術課題に**応え続ける**

より小さく、薄く、軽く  
半導体が進化し続けるなかで「お客様が必要なものを実現する」  
という DNA を受け継ぎ、市場ニーズに真摯に  
向き合ってきました。

### 1987

KOREA SHINKO MICROELECTRONICS CO., LTD. 設立

### 1990

SHINKO ELECTRONICS(MALAYSIA)SDN. BHD. 設立

### 1991

長野市若穂に若穂開発センター(現・若穂工場)開設

### 1993

新潟県京ヶ瀬村(現・阿賀野市)  
に京ヶ瀬工場開設



### 1994

「環境憲章」制定(後に「環境方針」に改称)

### 1995

PLP(Plastic Laminated Package)生産開始

### 1996

東京証券取引所市場第一部に  
株式を上場



### 1998

高丘工場が環境管理の国際基準 ISO 14001  
認証取得  
以降各工場でも認証取得

### 2002

長野市北尾張部(旧・富士通(株)長野工場内)  
に新光開発センターを開設

### 2004

栗田総合センター(旧・栗田工場)落成披露



# 2006-2025

## 新たな時代へ向け、 半導体の次なる**革新**を支える

社会に変革をもたらす半導体テクノロジー 新光電気は、  
「世界最高レベルのものづくりと技術力」を追求し、  
次のイノベーションを生み出すことに  
挑戦し続けていきます。

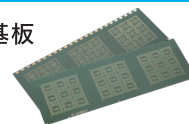
### 2010

SHINKO Way 制定  
コアレス基板(DLL3®)  
量産開始(業界初)



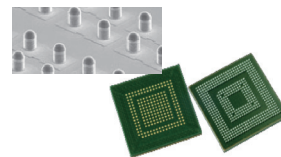
### 2013

プラスチック BGA 用薄型基板  
(コアレス基板)量産開始



### 2014

Cu ピラー量産開始  
MCeP® 量産開始



### 2017

「働き方改革」労使共同宣言

### 2021

新光テクノアカデミー開校

### 2022

「環境ビジョン 2050」策定  
東京証券取引所の市場再編  
によりプライム市場へ移行



### 2023

長野県千曲市に  
千曲工場開設



### 2025

JICC コンソーシアムを新たなパートナーとして、  
株式非公開化

さらなる成長に向け新たなステージへ